

# 西俊輔の「毎日楽しく」

Vo1.47 2009年7月号

先日出席したある勉強会で、「長所伸展法」という考え方が紹介されていました。これは、短所には目をつぶって長所を伸ばした方が人は早く成長し、業績も上がるという考え方です。

人にはそれぞれ長所もあれば短所もあります。そこで多くの方は、短所を克服することが人を成長させる方法だと信じて、短所を克服しようとするそうです。しかし、短所を克服してそれを人並みのレベルに引き上げたとしても、それはあくまで「人並み」のレベルであって、本人にとっても、周りの人にとっても大きなプラスにはならないそうです。それよりも、すでに人並みのレベルを超えた長所をさらに伸ばすことによってたとえば「一流」のレベルに引き上げることができれば、それは本人を含め、周りの人にとっても大きなプラスになるそうです。したがって重要なのは短所を克服することではなく、長所をさらに伸ばすことだといいます。

ただし、短所に目をつぶるからといって、そこはほうっておいてもいいのかと安心してはいけません。「人並み」の下にはさらに「半人前」というレベルもあって、そのラインを下回るような短所は社会人として恥ずかしいレベルですから、ここは最低限、半人前のレベルを上回るように克服しないとイケないそうです。

また、他人を見るときにも、短所には目をつぶり、なるべく長所を見るようにすることが大事なようです。多くの方は他人の長所よりも短所に目が行きがちになるそうですから、これは意識しないと難しいようです。そういえば、お酒の席などでは、会社や上司の悪口を言ったり、あるいは部下の悪口を言ったりすることが多いですね。あれは、他人の短所ばかりに目が行き、長所を見ていないことの典型かもしれません。

私も他人の短所をなるべく見ずに、長所を見ようと心がけてはいますが、つつい短所が気になることもあります。

みなさんご自分の長所は何だと思えますか？ また、周りの人の短所ではなく、長所を見るようにしていますか？

